

平成 27 年度えりも地域ゼニガタアザラシ対策事業

1. 調査（存続可能性の再評価・モニタリング）に関する事業

1) ヘリセンサス

- ・襟裳岬付近について、UAV（無人ヘリ）による個体数調査を実施する。
- ・得られた画像の解析により、個体群構成の推定が可能か検討する。

2) 生態モニタリング調査

- ・捕獲あるいは混獲されたゼニガタアザラシの体長、体幅、体重、皮下脂肪厚測定、胃内容物分析及び性別確認等を実施する。必要に応じて、疫学調査の実施を検討する。

3) 生態解明調査

① 上陸頻度調査

- ・ゼニガタアザラシに衛星発信機を装着し、上陸頻度を明らかにする。

② 行動解析

- ・ゼニガタアザラシに衛星発信機及び音波発信機を装着し、定置網への来遊頻度等の行動を解析する。
- ・捕獲・混獲されたゼニガタアザラシを一時的に飼育し、サケ捕食行動の解析等を行う。

4) 数量解析

- ・ゼニガタアザラシ個体群の存続可能性の再評価を行うため、数量解析による絶滅確率計算を行う。
- ・幼獣ではないメス個体の捕獲を試み、出産歴等、数量解析の精度向上に資する情報を得る。

2. 被害防除に関する事業

1) 漁網の改良（環境研究総合推進費：北大・農大等と連携）

- ・侵入防止柵に改良を加えた改良網の試験を実施する。（春期、秋期漁期中）
※漁業者との意見交換の結果、金庫網の漏斗先に着脱可能な格子網を付けることとした（図1.）。
- ・仕切り網の設置等、昨年度の試験を踏まえた漁業者による網の改良について、希望状況・内容に応じて、実施を検討する。

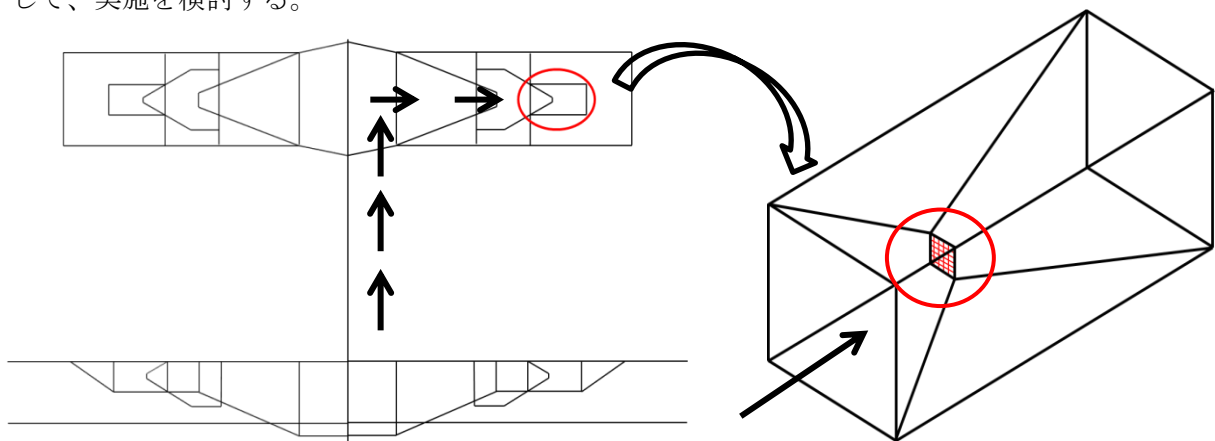


図1. 改良網の構造イメージ

2) 捕獲罟の設置

- ・改良網と併せて、ゼニガタアザラシ捕獲を目的とした捕獲罟（図2.）を設置する。（春期漁期中）
※網に来遊したゼニガタアザラシを捕獲するため、定置網の周辺に複数設置する。

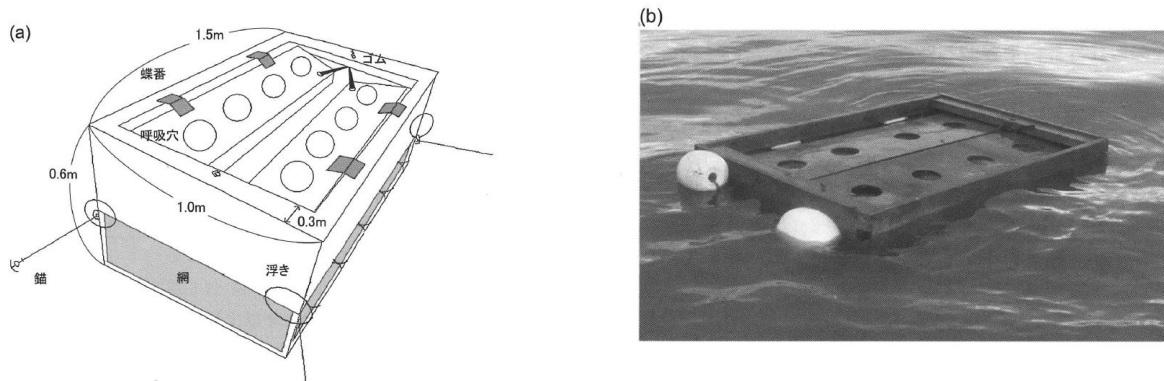


図2. 捕獲罟の構造・設置状況イメージ
小林ら（2011），箱罟とふくろ網罟を用いたゼニガタアザラシ *Phoca vitulina stejnegeri* の捕獲，哺乳類科学, vol. 51, 47-52 より引用

3) 忌避装置の改良試験

- ・捕獲・混獲されたゼニガタアザラシを用いて、忌避装置の改良のための試験を行う。
- ・試験期間中は、生け簀をえりも岬漁港に設置し、アザラシを一時的に飼育する。

3. その他

1) 科学委員会、協議会の開催

- ・専門家によるモニタリング調査等の結果の評価・分析、ゼニガタアザラシ管理手法の検討をするため、科学委員会を開催する。
- ・地元関係者、行政機関、専門家等による保護管理計画・事業計画の評価、検討、協議を行うため、協議会を開催する。